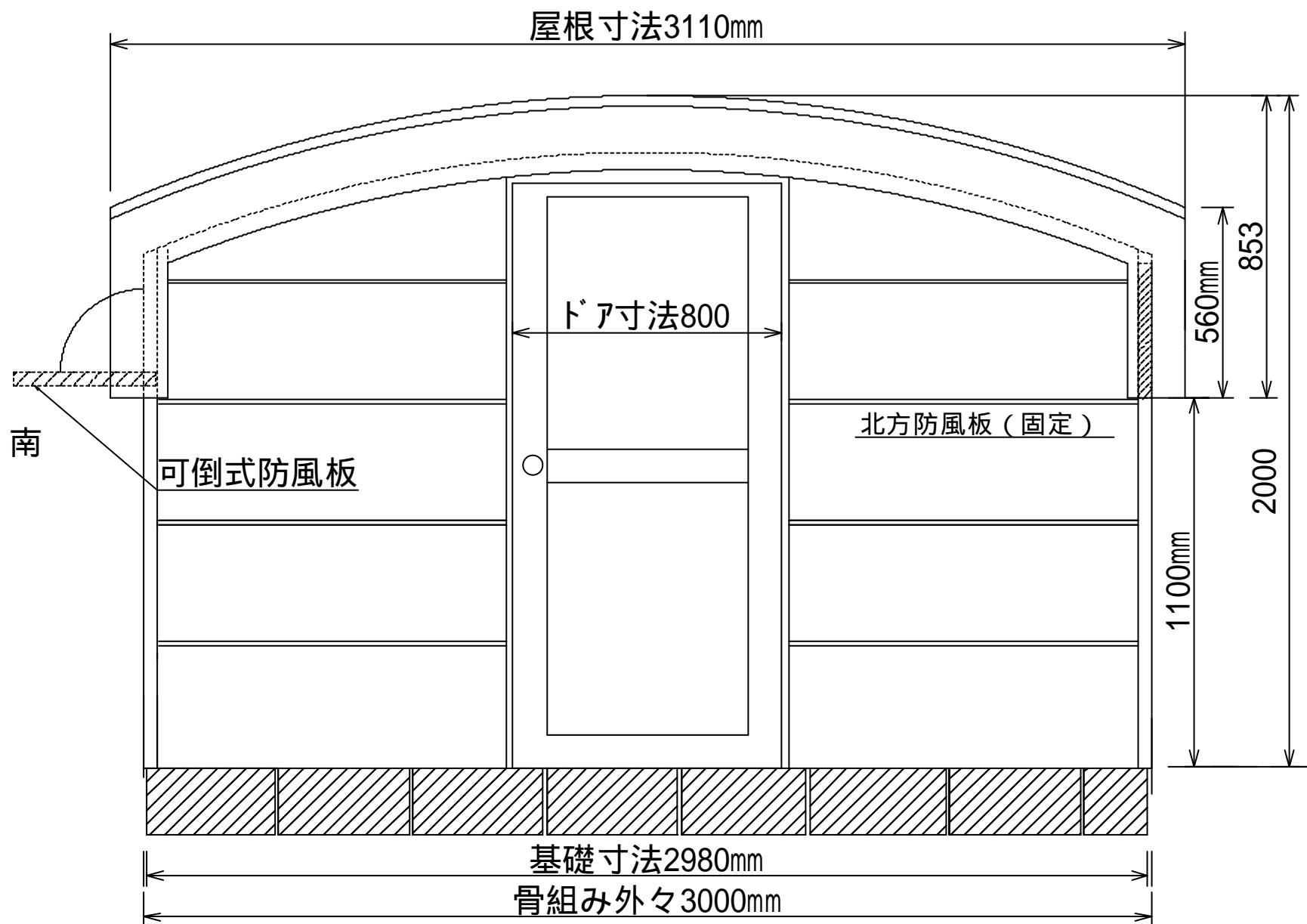
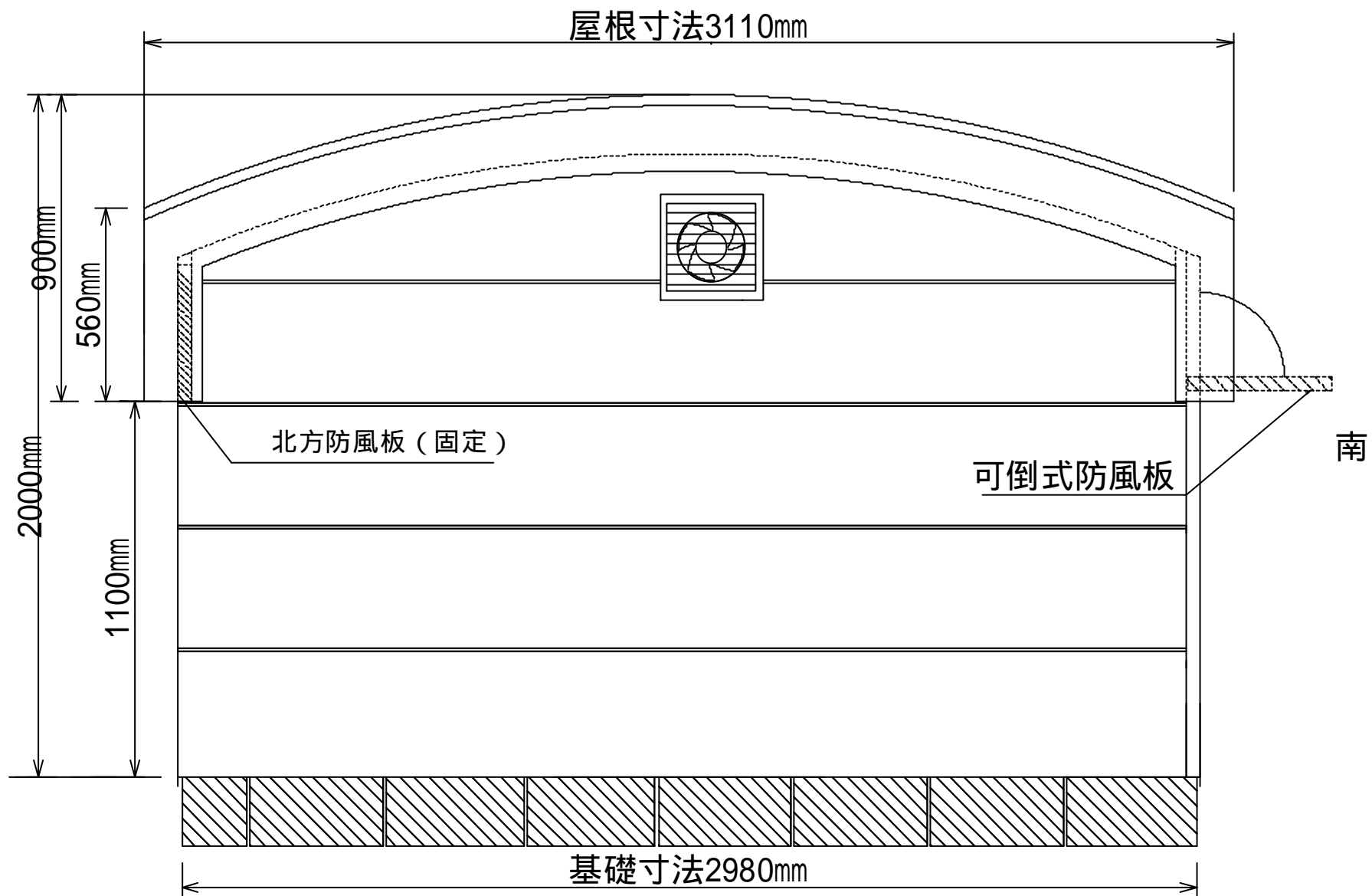


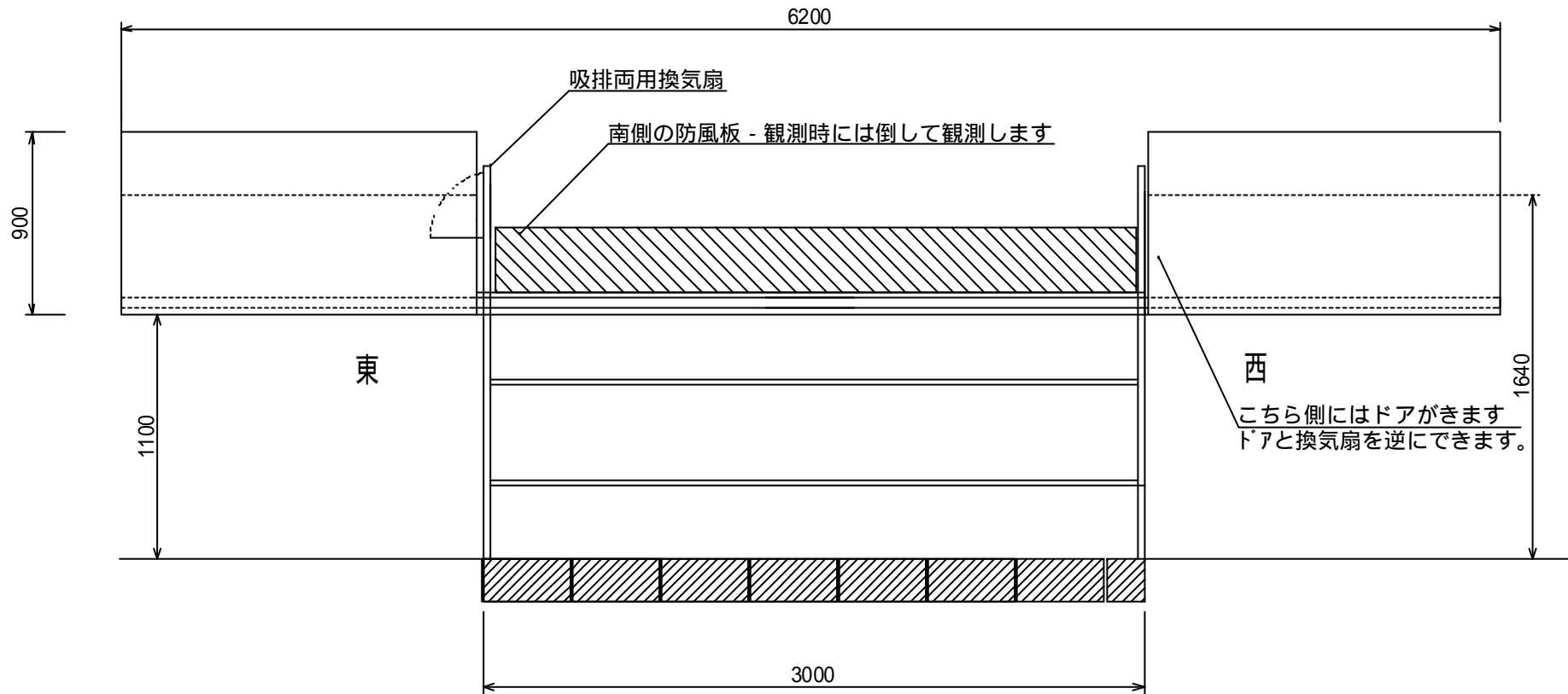
# スライドルーフスーパーSRS3030 (ドア側)



スライドルーフスーパー SRS3030 (換気扇側)



# スライドルーフスーパーSRS3030開口時図面(南側)

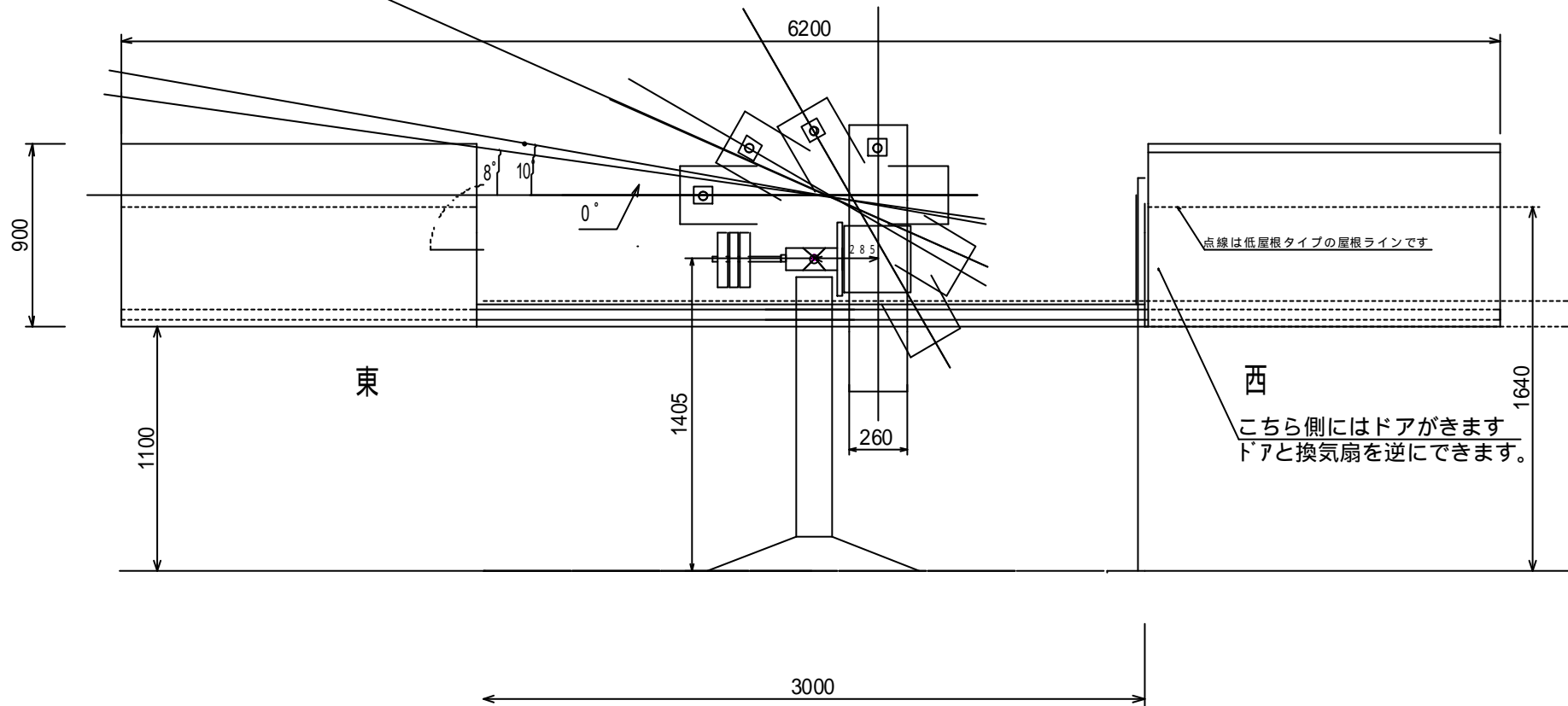


ドアの位置はご希望により変更出来ます。

観測室野高さは変更できます。

点線のラインは低屋根タイプです。

# スライドルーフスーパーSRS3030開口時視界図面(北側よりみる)



1. 望遠鏡の不動点をスライドルーフの中心に置いて高さを1405にしてスライドルーフの基礎とピラーの下が同じ位置にあるとして作図してあります。
2. 不動点から鏡筒中心までの距離を285mmとしてあります。使用する鏡筒により変わります。
3. 以上の条件でみますと鏡筒を不動点の上側にした場合のケルは屋根の一番高い所で約9度から10度になります。
4. かさ上げをする場合、収納時の望遠鏡の姿勢と使う鏡筒で変わってきますが、筒の長いコートン式で寝かせて収納する場合は、ほとんどかさ上げできません。使用する筒がツミ加のように短いものでしたらあと15cmから20cm位かさ上げできます。
5. 正確な寸法が必要でしたら、使用鏡筒の種類と寸法・不動点から鏡筒に中心までの寸法をお知らせ下さい。
6. 図は北側から見ています。  
使用する筒がツミ加のように短いものでしたらあと15cmから20cm位かさ上げできます。

# スライドルーフSRS3030 (SRL3030) 基礎

アンカーボルトは付属していませんので、直径12mm (角座金共) の物を16本ご用意下さい。

基礎はブロック基礎でも布基礎でもかまいません。

